

1 対象
中学生

2 ねらい

県内で生活する外国籍県民等の人々が、不当な差別的言動や人権侵害を受けている現状を知り、すべての人が共生する社会をつくるためにはどうすればよいか考えることで、外国籍県民等の人権に関する理解や関心を深め、差別や人権侵害を許さない態度を育てる。

3 準備するもの

○動画 人権啓発ビデオ「外国人と人権～違いを認め、共に生きる～」(4/5)【ドラマ ハイトスピーチ】 <https://www.youtube.com/watch?v=pdGUjqPu2Y>

○ワークシート

○資料



4 解説

令和7年1月1日現在の神奈川県内の外国人数は、284,889人となり、年々増加しています。また、学校でも外国につながるの児童・生徒は増え続けています。そのような中で、特定の民族や国籍の人々を排斥する差別的言動、いわゆる「ハイトスピーチ」が大きな社会問題となっており、それに苦しめられている人がいるという現実があります。

このワークでは、外国籍県民等が安心して過ごすことのできない現状があることを知り、外国籍県民等と共生する社会をどのようにつくっていけばよいのかを具体的に話し合うことで、違いを認め合い、互いの文化と個性を尊重する多文化共生の意識を育てます。

5 教科などとのつながり

社会、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動 など

6 進め方(展開例) 50分

時間	学習の流れ(活動・内容)	留意事項	資料など
導入 10分	<p>◆学習の確認(2分)</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業の流れや留意点の説明を聞く。 <p>◆アイスブレイキング(8分) 「スリーヒントクイズ」</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分が行ってみたい国を思い浮かべ、その国に関連するキーワードを3つ考える。 グループで、キーワードからお互いに行ってみたい国を当て合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の流れを説明する。 P4【学習の約束】を伝える。 <ul style="list-style-type: none"> 行ってみたい国やキーワードが思い浮かばない場合は、インターネットなどで調べさせてもよい。 3～4人のグループで行う。 食べ物や言葉、生活様式など、文化に関わるヒントも入れるとアクティビティにつながる。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート

<p>展開 35分</p>	<p>◆アクティビティ（35分）</p> <p>①自分が日本以外の国で生活することになったら、不安に感じることを個人で考え、ワークシートの2に書く。</p> <p>②①について全体で意見を共有する。</p> <p>③日本に住んでいる外国人への人権侵害について知る。</p> <p>④動画（7分55秒）を視聴する。</p> <p>⑤動画を視聴して気づいたことや考えたことを個人で考え、ワークシートの3に書く。</p> <p>⑥⑤についてグループで共有し、ワークシートの4をグループで話し合いながら書く。</p> <p>⑦グループで出た意見を全体で共有する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本特有の文化や習慣は何があるのかを考えるよう促す。 ・外国につながるの生徒に、日本での生活への不安を聞いてもよい。授業で取り上げてよいか事前に確認しておく。 ・「風習や習慣などの違いが受け入れられない」「差別的な言葉を言われる」などの世論調査結果を伝える。 ・ヘイトスピーチについて資料をもとに補足説明し、ヘイトスピーチは人権侵害であることをおさえる。 ・直接的な言葉によって傷つくだけでなく、世の中に対して不安や恐怖を抱かせる場合があることに触れる。 ・ヘイトスピーチ以外にも、外国籍県民等が生活しづらい環境などがあることに気づかせる。 ・できることを具体的に考えていくようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・資料 ・動画
<p>まとめ 5分</p>	<p>◆まとめ（5分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まとめの話を聞く。 ・授業をとおして考えたことをワークシートの5に書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒から出された意見をもとにねらいをおさえてまとめる。 ・不当な差別を許さないために法律や条例が制定されていることを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート
<p>・外国籍県民等を含め、すべての人の人権が尊重され、互いに多様性を認め合い、生き生きと生活できる社会をつくっていかうとすることが大切である。</p>			

<参考資料など>

- ・「本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律」前文
- ・「県内の外国人数の調査結果について（令和7年1月1日現在）」神奈川県ウェブサイト

ちが みと あ い 違いを認め合い、ともに生きる

()年 ()組 ()番 名前 _____

1 スリーヒントクイズ

①あなたが行ってみたい国はどこですか。

②その国に関連するキーワードを3つ挙げてください。

2 あなたが日本以外の国で生活をするようになったら、不安に感じることはどんなことだと思いますか。

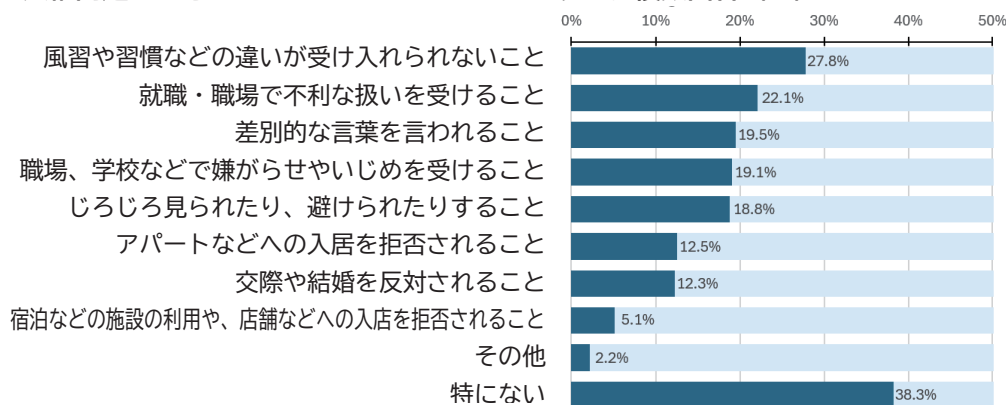
3 動画を見て、気づいたことや考えたことを書きましょう。

4 外国籍等の人でも安心して暮らせるために、自分たちにどんなことができるでしょうか。

5 今日の授業をとおして考えたことを書きましょう。

○人権擁護に関する世論調査（令和4年8月調査）「外国人に関する人権問題」

あなたが、日本に居住している外国人に関し、体験したことや、身の回りで見聞きしたことで、人権問題だと思ったことはどのようなことですか。複数回答（%）



内閣府世論調査「人権擁護に関する世論調査」（<https://survey.gov-online.go.jp/r04/r04-jinken/2.html#midashi14>）を加工して作成

ハイトスピーチとは

特定の国の出身者であること又はその子孫であることのみを理由に、日本社会から追い出そうとしたり危害を加えようとするなどの一方的な内容の言動が、一般に「ハイトスピーチ」と呼ばれています（内閣府「人権擁護に関する世論調査（平成29年10月）」より）。

ハイトスピーチは、人々に不安感や嫌悪感を与えるだけでなく、人としての尊厳を傷つけたり、差別意識を生じさせることになりかねません。

多様性が尊重され、不当な差別や偏見のない成熟した共生社会の実現を目指す上で、こうした言動は許されるものではありません。

民族や国籍等の違いを認め、互いの人権を尊重し合う社会を共に築きましょう。

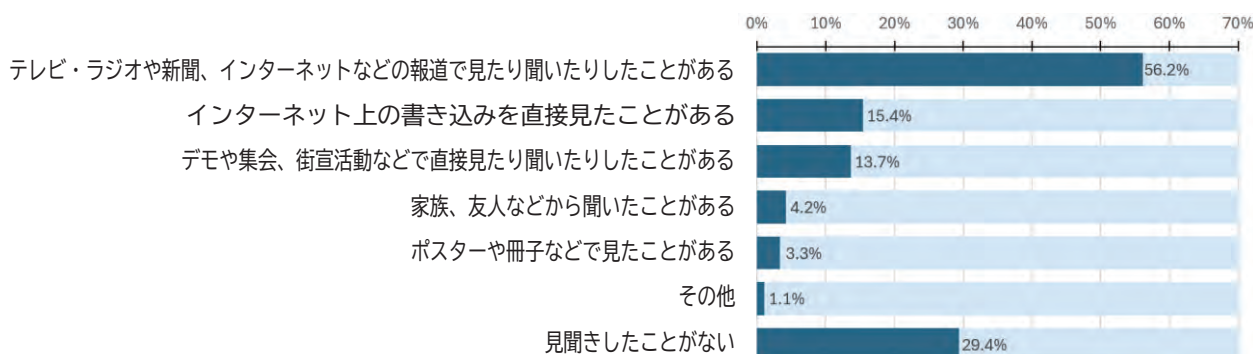
出典：法務省ウェブサイト「ハイトスピーチ、許さない。」https://www.moj.go.jp/JINKEN/jinken04_00108.html



ポスター
「ハイトスピーチ、許さない」

○人権擁護に関する世論調査（令和4年8月調査）「ハイトスピーチを見聞きした経験」

特定の民族や国籍の人々を排斥する不当な差別的言動が、一般に「ハイトスピーチ」と呼ばれています。あなたは、このようなハイトスピーチについて、見聞きしたことはありますか。複数回答（%）



内閣府世論調査「人権擁護に関する世論調査」（<https://survey.gov-online.go.jp/r04/r04-jinken/2.html#midashi14>）を加工して作成

○法律や条例

- ・「本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律」
- ・「川崎市差別のない人権尊重のまちづくり条例」